

入園、進級をされて約3週間がたちました。お天気であればどの学年も外遊びをしています。まだまだおうちの方との別れ際には涙が出てしまうお子様もいらっしゃいますが、バスのお子さまはバスに乗ってしばらくたてば、送迎のお子さまも、おうちの方の姿が見えなくなれば、涙が自然と消えるようになってきました。そして園庭でおままごとをすると、笑顔を見せて「これ」「はい」と作ったものを差し出してくれます。「ありがとう」というとさらにもう一つ作ってくれます。少しずつ「幼稚園で楽しいところ」ということをわかっていきます。うれしいです。ご心配なことがあれば、ご遠慮なく園までご連絡ください。

「幼稚園」は楽しいところ でも まだちょっと緊張するところですよ！

学年代わりの4月、5月は、おうちの方にとってはもちろんのこと、お子様方にとっても張感のある生活です。新しいクラス、新しい友だち、新しい先生など新しい環境に身を置いているからです。学年代わりだから仕方がない…と言うことは簡単ですが、下駄箱やロッカーが新しい場所になったり、教材などのやり方が少しずつ違うことで、保育者の話を集中して聞くことや、聞いたことを行動に移すことも、お子様の集中度や緊張感を高める理由にあたるかもしれません。一方、お子様はおうちに帰って「今日は、先生の話を生懸命聞いていろいろなことをしたから疲れたよ…」などと説明できるはずもありません。ちょっとわがままを言っておうちの方を困らせる、そんな様子もあるかもしれませんね。そんな時は、「先生のお話がちゃんと分かるんだね、すごいなあ」「ハンカチ、ティッシュとか自分で用意できるようになって偉いな」などと、ほめて差し上げてください。30日にお渡しする「ほしのこ」の内容をお子様にもお話ししていただくと喜ばれると思います。

恵川主幹保育教諭による年長児の「発見探検 Club」(月1回の実施)がありました。「不思議を見つけ、なぜかを考え、皆にアイディアを伝えてみる」をコンセプトにしています。今月は、A4の紙を①垂直に落とすとどんなふうに落ちる？②紙の面を床に平行にして落とすとどうだろう？という実験に年長さんは一生懸命考えました。①と②を同時に落としたらどっちが先に落ちる？なぜ？…お子様は、紙の向きによる空気の抵抗を「ひらひら落ちるんじゃない？」「ぴゅーって落ちるよ」という言葉に置き換えて、様々な説明を試みていました。そら組では窓が開いていたため、「風が吹くと落ち方が変わるから、窓を閉めよう」と提案するお子様もいて、持ち方を変えた紙の落ち方とその理由を考え言葉にしていました。不思議をみんなで考え伝えあう…そんな時間になればと思います。



挙手をして「はい、どうぞ」と促され、
自分の考えを皆に伝える年長さん

おひさま文庫の絵本に形や内容ごとに色別のシールをはりました。
先生の話を真剣に聞く年中さん



はやいはやい！短くたって真剣勝負!!!!
みんなが作ったこいのぼりも応援してくれていますね

理子先生と音楽遊び。鈴、トライアングル、タンバリンを歌に合わせてジャン、リン、パン♪♪



お外で遊ぶのだいすき！
ペタペタと山の形を整えて、「そうだ、川も作ろうよ！」